

東海だより

第17号
東海防衛支局広報
平成25年10月発行



〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目2番1号

電話：052-952-8212

<http://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>



名古屋城本丸御殿

初代尾張藩主の住居・政庁として慶長20年(1615年)に徳川家康により建設されましたが、昭和20年(1945年)の空襲で焼失しました。

平成21年に復元工事に着手し、本年5月29日、玄関と表書院の公開が始まりました。

全体の完成は、平成30年を予定しているとのことです。

第17号の掲載内容

- ◆特集1(東海防衛支局の業務Part-4) ……2、3ページ
- ◆特集2(支局広報活動の記録) ……4、5ページ
- ◆地域の話 ……5ページ
- ◆支局短信1、2、3 ……6ページ
- ◆編集後記 ……6ページ





東海防衛支局管内（愛知県・岐阜県・三重県）には、自衛隊等が使用する飛行場などの数多くの防衛施設が所在しています。これらの防衛施設は、自衛隊等の活動の基盤として、我が国の平和を守る上で不可欠であり、そのため、周辺地域の皆様の理解と協力を得ながら円滑に使用していく必要があります。

そこで、防衛施設と周辺地域との調和を図るため様々な施策について、これまでご紹介してきましたが、今回はその最後となる特定防衛施設周辺整備調整交付金についてご紹介いたします。

次号以降、引き続き東海防衛支局が実施する主要な業務をご紹介して参ります。

■ 特定防衛施設周辺整備調整交付金

防衛施設の設置、運用により、周辺地域の生活環境や開発に著しい影響を及ぼしており、騒音防止工事の助成や、民生安定施設の整備の助成のような個別の対応策だけではカバーできず、街づくりについて、より努力を余儀なくされる市町村については、防衛大臣が特定防衛施設関連市町村に指定しています。

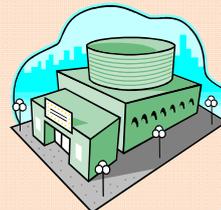
この市町村には、交通・レクリエーション・社会福祉施設などの公共用施設の整備及び医療費助成・コミュニティバスの運営、学校施設等耐震診断などのいわゆるソフト事業に使用できる特定防衛施設周辺整備調整交付金の交付を行っています。

東海3県では、岐阜県各務原市の「岐阜飛行場」及び愛知県小牧市、春日井市、豊山町の3市町にまたがる「小牧基地」が交付対象として指定されており、これらの市町に対し、この交付金を交付しています。

[主な対象事業]

公共用の施設の整備

- ・消防団車庫（事例写真①）、防火水槽、消火栓
- ・公園（事例写真②）、体育館、屋外運動場
- ・農業用施設（事例写真③）、農林水産物の共同貯蔵所
- ・市町村道、駐車場、歩道、有線ラジオ放送施設
- ・ごみ収集車、上水道、下水道、排水路、街路樹
- ・公民館、学校、幼稚園、図書館、通学・通園バス
- ・病院、診療所、保健所、母子健康センター、救急車
- ・老人福祉施設、母子福祉施設、保育園
など



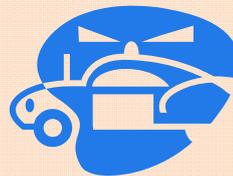
～公民館の整備～



～ごみ収集車の整備～

ソフト事業

- ・医療費助成（事例写真④）
- ・防犯パトロール
- ・学校等の建物耐震診断等
- ・子育て支援センターの運営、ホームヘルパーの派遣等
- ・リサイクルセンターの運営等
- ・地域特産品の開発支援
- ・コミュニティバス等の運営
- ・周辺地域における都市景観設計
など



～防犯パトロール～



～建物耐震診断～

～ソフト事業の追加について～

平成23年4月から公共用の施設の整備に加えて新たにソフト事業が追加され、交付される関係自治体にとっては多様な用途に使用することが可能となりました。



次に、特定防衛施設周辺整備調整交付金を使用して各自治体で実施された事業の紹介です。

実施事例



①小牧市（消防団車庫）

平成18年度に、小牧市が災害時に防災の拠点施設となる車庫の充実を図るため、鉄骨造2階建の消防団車庫を整備しました。



②春日井市（牛山公園）

平成20年度から平成23年度までに、春日井市が整備した公園です。面積約2.37haに芝生広場、園路、池などの整備を実施しています。



③豊山町（鋼製スライドゲート更新）

平成21年度に、豊山町が農地への用水の安定供給を図るため、鋼製スライドゲートを整備しました。



④豊山町（豊山町子ども医療費助成基金事業）

豊山町は、平成23年度から特定防衛施設周辺整備調整交付金を子ども医療費基金に積み立て、平成24年度から基金を利用し、保健医療の自己負担額の助成に活用しています。

本号をもって、防衛施設と周辺地域との調和を図るための様々な施策についての業務紹介は最終回となります。今後とも関係地方自治体などからのご要望等にお応えできるよう、事業の充実に努めてまいります。



①陸上自衛隊久居駐屯地記念行事の広報記録

広報活動を行う当支局職員



パネル展示を観覧する来場者



4月21日(日)陸上自衛隊久居駐屯地(三重県津市)において、駐屯地開設61周年の記念行事が開催され、約5,000名の方々が来場されました。

イベントでは、訓練場で行われた隊員の訓練展示及び駐屯地内での装備品展示等が催されており、とても賑わっていました。

今回、東海防衛支局は当会場で各種パンフレットの配布及び当支局で実施した周辺対策業務等を紹介したパネル展示の広報活動を実施しました。



エビ丸くんの豆知識

久居駐屯地は第33普通科連隊をはじめとした6つの部隊から成り立っているんだ。

メインとなる普通科連隊とは、地上戦闘部隊として、機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に重要な役割を果たしているんだよ。

また、東日本大震災の時には第33普通科連隊が人命救助のため東北へ出動し、発生翌日から約3ヶ月間任務にあたったんだ！！

東海防衛支局は、今後も、開催される自衛隊の記念行事や航空祭等において、自衛隊の活動を紹介する写真のパネル展示や各種パンフレット配布などの広報活動を実施する予定です。

今後の記念行事等開催予定一覧

イベント名	開催予定日	開催場所(住所)
第10師団創立記念行事	平成25年9月29日	陸上自衛隊守山駐屯地(愛知県名古屋市守山区3-12-1)
豊川駐屯地創立記念行事	平成25年10月5日	陸上自衛隊豊川駐屯地(愛知県豊川市穂ノ原1-1)
明野駐屯地航空祭	平成25年10月20日	陸上自衛隊明野駐屯地(三重県伊勢市小俣町明野5593-1)
岐阜基地航空祭	平成25年11月24日	航空自衛隊岐阜基地(岐阜県各務原市那加官有地無番地)



②ふれあいフェスタin松阪港の広報記録



停泊する「いえしま」



広報活動を行う当支局職員



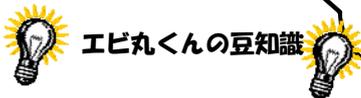
体験航海に出航した「えのしま」

5月17日(土)～18日(日)松阪港中央ふ頭(三重県松阪市)において、海上自衛隊の掃海管制艇「いえしま」及び掃海艇「えのしま」が来港し、両日合わせて約1,500名の方々が来場されました。

イベントでは、「いえしま」の艇内見学や「えのしま」の体験航海等が催され、特に体験航海は非常に好評で乗艇時にはとても賑わっていました。



来航した掃海管制艇等が所属する海上自衛隊掃海隊群とは、我が国の防衛のため、周辺海域において、機雷を除去する任務を持っており、海上交通の安全の確保を担っているよ。1991年、海上自衛隊の掃海艇は、湾岸戦争終了後イラクが敷設した機雷を除去・処分するため、ペルシャ湾でも掃海業務を行ったよ。
また、掃海隊群は機雷除去だけではなく、東日本大震災の時には生活物資の運搬や海中の行方不明者の捜索救難等の災害派遣活動も行ったんだ!!
ちなみに、「いえしま」は広島県の呉基地に、「えのしま」は神奈川県の横須賀基地にそれぞれ配備されているよ。



地域の話

陸上自衛隊第10師団第10音楽隊第38回定期演奏会開催♪



写真提供:第10師団司令部広報室



6月22日(土)、第10師団(名古屋市守山区)は、名古屋市栄(さかえ)にある愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、定期演奏会を開催しました。

この演奏会は、地域の方々に師団に親しみをもって頂くとともに、理解を深めて頂くため、昭和51年から行われており、今回は約1,760名の来場者がありました。

演奏会では、東日本大震災からの復興の願いも込めつつ、「勇者のマズルカ」、「夢の明日に」や「指輪物語」などが演奏され、迫力ある演奏や指揮者のパフォーマンスに対して、来場者から大きな拍手が送られていました。

支局短信1

平成25年度新規採用者の紹介

4月に東海防衛支局に採用された職員を紹介します。
 下段は簡単な自己紹介です。
 どうぞよろしくお願いいたします。
 (写真は左から古谷→永井→国奥→今里→菅野)



氏名 質問	古谷雅也	永井七奈	国奥佳紀	今里進	菅野健太
現在の所属は？	周辺環境整備課	施設管理課	建設計画官付	建築課	建築課
趣味・特技は？	剣道、サイクリング、スポーツ観戦。	読書・F1観戦。	自転車での散策。	ポーリング、パソコンで3Dのロボットの作成。	読書(漫画)。特技は模索中。
今後の抱負は？	先輩の指導を自分の力へと変えて、今後の業務に精進。	一日でも早く業務に精通したい。	早く業務を覚えたい。	将来は「彼なら安心だ」と、信頼される職員になりたい。	工事の全体像を把握し、現場監督官としての役割を果たしたい。

支局短信2

東海防衛支局管内部隊等連絡調整会議開催

8月1日(木)、当支局主催による上記会議が名古屋合同庁舎第1号館において開催されました。

この会議では、当支局管内の各部隊が抱える諸問題及び支局・地方協力本部が行う広報・地方協力確保事務等について意見交換を行いました。

また、周辺対策事業により、より有効な基地の運用を図ることを目的としたものでもあり、支局、各部隊及び地方協力本部の担当者44名が参加しました。



支局短信3



新次長着任

早いもので名古屋に赴任して半年が過ぎました。東海防衛支局は、愛知県、岐阜県、三重県を管轄区域に持ち、地方における防衛行政の拠点としての役割を担っております。

今後とも地域の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東海三県には歴史に育まれた食文化がありますので、各種料理を味わうことも楽しみにしております。(根岸信好)

編集後記

着任して2度目の発行となります。まだまだ試行錯誤が続いていますが、読者の皆様に興味を持って頂ける広報誌を目指して努力したいと考えています。

4月に支局に赴任して思ったことを一つ。支局までの通勤には、名古屋市営バスの基幹第2号系統(基幹バスと呼ばれます)を利用していますが、まずはその運行本数の多さに驚かされました。都市圏の鉄道並みの本数が運行されています。また、バスレーンは、片側三車線の中央側車線に、バス停は、中央分離帯の部分に設置されており、他の都市ではあまり見られない形態に思えます。愛知県は、車両保有台数が日本一と聞きます。多くの自動車が非常に広い道路を行き交う中、バス三台が連なって走る姿は圧巻です。(TK)